

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度第2回美幌町次世代育成支援推進協議会
開 催 日 時	平成30年12月25日 (火) 午後6時30分 開会 午後6時51分 閉会
開 催 場 所	しゃきっとプラザ 会議室2
出 席 者 氏 名	別紙名簿のとおり
欠 席 者 氏 名	別紙名簿のとおり
事務局職員職氏名	別紙名簿のとおり
議 題	(1) 第二期子ども・子育て支援事業計画作成のためのニーズ調査票(案)について (2) 今後のスケジュールについて(予定) (3) その他
会議の公開又は非公開の別	公開
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	—
傍聴人の数 (会議を公開した場合)	0名
会議資料の名称	第2回美幌町次世代育成支援推進協議会議案  書類番号1 市町村子ども・子育て支援事業計画作成に係る利用希望把握調査等について(平成30年5月24日事務連絡) 書類番号2 第二期市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等の考え方について(平成30年8月24日事務連絡)及び概要(抜粋) 書類番号3 ニーズ調査票(案:未就学児用) 書類番号4 ニーズ調査票(案:小学生用) 書類番号5 委員名簿
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録
その他の必要事項	

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p><b>(開 会)</b> 事務局 (多田主幹)</p>	<p>皆さんこんばんは。定刻となりましたので、ただ今より平成30年度第2回美幌町次世代育成支援推進協議会を開会いたします。</p> <p>この協議会は、美幌町審議会等の会議の公開に関する条例第3条により公開となります。会議の傍聴が出来ますのであらかじめご承知をお願いします。</p> <p>本日、欠席のご報告がありました委員さんは、安井委員、国澤委員、大高委員、贄田委員、横山委員、本田委員の6名となっておりますけれども、まだこられていない委員さんもおります。間もなく到着することと思います。</p> <p>それでは、早田会長よりご挨拶をいただきたいと思います。よろしくをお願いします。</p>
<p>早田会長</p>	<p>皆さん、こんばんは。何かとお忙しい中本当にお集まりいただきまして感謝申し上げますとともに、本当に恐縮に思っております。</p> <p>議題は事前に郵送でお配りしておりますので、皆さん目をとおしていただいているかなとは思っております。</p> <p>本日、また皆さんの貴重なご意見をいただきながら、有意義な会議にしていきたいと思っておりますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。今日はありがとうございます。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。次に議題に入りますけれども、これより先は会長が議長となって進行していただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>早田会長</p>	<p>それでは、ありがとうございます。3番の議題に入ります。</p> <p>(1) 第二期子ども・子育て支援事業計画作成のためのニーズ調査票(案)についてということで、よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、私の方から説明させていただきます。</p> <p>子ども・子育て支援法第61条に基づき、市町村は国の示す基本方針に則して、5年を一期とする教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保など法律に基づく業務の円滑な実施に関する「市町村子ども・子育て支援事業計画」を定めることとしております。</p> <p>この計画は、5年間の計画期間における幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援についての需給計画とされ、基本的記載事項として市町村が定める区域ごとに「量の見込み」「確保の内容」「実施時期」を記載し、併せて任意的記載事項として、北海道が行う専門的な知識・技能を要する社会的養護等に係る支援との連携やワーク・ライフ・バランスに係る施策との連携等についても記載することとされており、事業計画策定にあたっては、住民の子ども・子育てに係るニーズを把握することが求められ、ニーズ調査を行って策定しております。</p> <p>こうして平成27年3月に策定いたしました美幌町子ども・子育て支援事業計画（平成27年度～31年度）ですが、平成31年度で終了することから、この度2020年度（平成32年度）を始期とする第二期美幌町子ども・子育て支援事業計画を作成する必要があります。</p> <p>第二期計画の作成に当たって、前回同様に利用希望把握調査等の実</p>

施が必要となることを、本日添付いたしました書類番号1になります、こちらの「市町村子ども・子育て支援事業計画作成に係る利用希望把握調査等について」（平成30年5月24日付け事務連絡）において周知されており、詳しくは後ほどご説明させていただきますが、書類番号3及び4のとおりニーズ調査票（案）を作成したものです。では、順を追ってご説明申し上げます。

第二期美幌町子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等の考え方について（要旨）についてです。

書類番号2をご覧ください。国が示した「第二期市町村子ども・子育て支援事業計画における『量の見込み』の算出等の考え方」（以下「考え方」といいます。）においては、「子育て安心プラン」（平成29年6月2日公表）や「市町村子ども・子育て支援事業計画等に関する中間年の見直しのための考え方（作業の手引き）【改訂版】」（平成29年6月29日付事務連絡）等現在の子ども・子育てをめぐる政策動向や、こうした事務連絡を踏まえ、第二期支援事業計画の作成に当たり、「市町村子ども・子育て支援事業計画における『量の見込み』の算出等のための手引き」（平成26年1月20日付事務連絡。以下「第一期手引き」といいます。）の内容に追加、修正が必要な項目等が記載されています。

これに基づきまして、今回のニーズ調査票（案）を作成しております。なお、第一期手引きにつきましては、約70ページございますので本日は割愛させていただいております。

なお、今見ていただいております書類番号2の本文、下から7行目に「なお、放課後児童健全育成事業及び幼稚園における預かり保育等の取扱いに関する量の見込みの算出方法等については、後日お示しする予定」との通知でしたので待ってございましたけれども、現在でも通知がなく、同時にその後に「各市町村においては、これを待たずに第一期手引きを活用しつつ、考え方を参照の上、調査対象や調査項目の選定を含め、適切に利用希望把握調査等を実施いただきますようお願いいたします。」ともありますので、これ以上通知を待つことは困難と判断しまして、今回はこれに従いニーズ調査を行なおうとするものです。

なお、国から計画作成に係る主なスケジュール及び「量の見込み」の算出等の考え方について、書類番号2の後半、カラーのページがございます、このカラーのページに要約されておりますので、後ほどお目通しをお願いいたします。

では、引き続きまして、議案P2ニーズ調査票（案）についてご説明いたします。

ア調査対象、①就学前児童の保護者約700人（対象者全員）、②就学後児童の保護者300人（各学年で50人を無作為抽出）、国は基本的に抽出が良いとのことですので、多子世帯で重複保護者は回答負担軽減を図るためなるべく1通としたいと考えております。イ抽出方法、住民基本台帳による0～11歳児（4月1日現在）の保護者、ウ調査手法、配付・回収は郵送を原則とします。ただし、美幌・東陽保育園在園者及び学童保育所利用者は、保育園（所）に回答提出でも可といたします。エ調査時期、平成31年1月上旬～1月25日の予定としております。

それでは、書類番号3、子ども・子育て支援に関するニーズ調査へご協力ください（未就学児用）（案）、書類番号4同（小学生用）（案）についてご説明させていただきます。

ニーズ調査票（案）につきましては、基本は前回調査と同様となって

	<p>おりますが、資料前後しますが書類番号2のP3下に6「調査票のイメージ」における設問の修正とございまして、これに従いまして一部表記内容の修正及び質問内容の追加を行っております。具体的には書類番号3（未就学児用）をご覧ください。P6の問15-1の表記修正を行っております。P8問16-1も新規追加となっております。また、前回は未就学児用でP22、就学児用でP11あったものを、文字の大きさやレイアウトを修正しまして、添付のとおりP17、就学児用はP9としてページ数を減らしております。</p> <p>内容につきましては、国から示されております様式を基準としておりますが、表記は美幌町にあったものに前回同様読み替えて、実態に合わせた形となっております。また、前回と一部変更しておりますのは、書類番号3未就学児用のP8下段をご覧ください、問19です。前回は事業としての記載でしたが、今回は事業及び施設に変更し、前回入っていた教育相談センター・教育相談室と子育ての総合相談窓口・エンゼルサポート120事業に替えて、③町民会館のプレイルーム、⑤幼児ことばの教室、⑨子ども発達支援センターを加えております。</p> <p>参考までに、前回の調査ですが、未就学児用で送付が714件に対して回答が470件で回収率が65.6%、小学生用が学童保育所利用者に限定していたため送付が134件に対して回答が87件で回収率が64.9%となっております。</p> <p>以上、簡単ではございますがご説明させていただきましたので、ニーズ調査（案）につきましてご審議いただけますようよろしくお願い致します。</p>
<p>早田会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。1月の下旬から、皆さんの同意がいただければ来年の1月上旬から25日にかけて調査を行うという案でございます。</p> <p>2通ございます。小学生用とその前のお子さん用とでございます。皆さんも目を通していただいていると思います。どのようなご意見でも結構でございますので、もし良ければ発言いただきたいと思います。</p> <p>何かございますでしょうか。</p> <p>河原先生、学校でアンケートというのは、こういう感じ、また別ですか。アンケートとかはあまり取りませんか。</p>
<p>河原委員</p>	<p>最近各学校で学校評価というものをやっていますので、こんなに項目は無いのですけれども、アンケートそのものは保護者の方に経験はあります。</p>
<p>早田会長</p>	<p>はい、分かりました。何かありませんか。よろしいですか。</p>
<p>長谷川委員</p>	<p>調査時期というのは、妥当なのですか。1月というと、忙しいというのもあって、そういう感じがあるのですけれども。1月上旬からの調査なのですけれども、結構共働きの人とかは忙しいのかな、と。まあ、何月に行っても同じだとは思いますがね。25日までというのも妥当なのかなと、ちょっと考えたのですけれども。</p>
<p>事務局</p>	<p>時期につきましては、本当であればもう少し早く行いたかったのですけれども、我々の事務的な都合もありまして、また国の通知を待っていたというもありまして、それで若干遅れてしまったのは確かにあります。ですので、1月が妥当かどうかと言われてはは何とも言えないのですが、一応期限も25日ということで3週間ほどあるのかなと思いますので、その中でなんとか思っている所です。</p>

長谷川委員	分かりました。
事務局	参考までに第1回目の調査の時は、平成25年10月に行って、10月30日から11月15日までの期間行っているのですね。集約期間は短かったのですが、今回は取っていますし、25日から何日か遅れて回答が来てもそれは反映させる形で取り扱いさせていただきます。あまりにも遅れてしまうとちょっと難しいですが、集計中に来るのはどんどん集計に加えさせていただきますたいと考えております。
早田会長	ちょっと1月だからバタバタというイメージがあるのですが、ではそれ以外の月はどこがいいのかと言われると、そこは皆さんの都合もありますからね。 はい、ありがとうございます。
三山委員	よろしいですか。
早田会長	はい、お願いします。
三山委員	これで減っているのですよね。事前に資料をいただいた時に随分ボリュームがあるものですから、未就学児用も、小学生用も。これだけボリュームがないと調査する項目が充足できないということで考えて良いのですよね。
事務局	基本的には、国から示された様式がございまして、その内容を当町の都合だけで削ってしまうとするならば、後から色々集計しなければいけないのですよね。それが、全部実はつながっているのですよ、この回答いただいたものがですね。それで、私たちの判断で削ってしまうとそこに影響が出るということがありまして、基本的には国から示された様式でと。
三山委員	それに必要なのが、このP17の調査票ということなのですね。
事務局	はい。今回はP22ありまして。
三山委員	ちょっとですね、随分なボリュームがあると思って。答える方が大変なのかなとちょっと心配があったものですから。 これだけないと、だめだよということであれば、頑張っていたきたいと。はい。
事務局	それで、今回は重複に保護者の方に行かないような形で、なるべく負担を減らしたいという形で考えておりますのでよろしくお願いいたします。
三山委員	はい、分かりました。
早田会長	国からの様式ね。削除する訳にはいきませんものね。
三山委員	いや、随分多いなと思って。お母さん方も大変かなと思って。
早田会長	思いますよね。確かにね。
事務局	国も、多いというのは分かっています、色々子育て会議が国にもあ

	<p>るのですが、そちらで協議した結果でこうだということに来てはいるのです。私たちはなんとも・・・。</p>
早田会長	<p>はい、ありがとうございます。他、なければ、またこのような様式でご父兄の皆様にはご迷惑かけますけれども、ニーズの調査ということで押していきたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>はい。</p>
早田会長	<p>ありがとうございます。また何かありましたら、直接事務局の方へご意見いただきたいと思います。</p> <p>(2) 今後のスケジュールについて(予定)ということで、お願い申し上げます。</p>
事務局	<p>それでは、(2) 今後のスケジュールについて(予定)です。</p> <p>平成31年1月上旬、調査票印刷・発送、1月25日調査票回収期限・順次集計、4月～次世代育成支援推進協議会開催(計3～4回程度を予定)、同様に子ども・子育て支援事業計画庁内検討委員会開催(計3～4回程度)、9月末第二期子ども・子育て支援事業計画(素案)策定、10月～議会所管常任委員会説明、パブリックコメント、北海道との協議・調整、平成32年2月、第二期支援事業計画(美幌町子ども・子育て支援事業計画：平成32年度～平成36年度)の決定・公表となっております。</p> <p>委員皆様におかれましては、来年11月までの任期でございますので、計画素案策定まで関わっていただくこととなる予定でございます。</p> <p>今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
早田会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>集計の後ですね、4月以降また会議の方でも色々ご意見をいただきながら作成をしていくという形になります。</p> <p>今言われましたように、11月まで任期でございますので、10月以降まで頑張るといってですね、素案を作るという形になります。</p> <p>こちらにつきましては、特にご意見といいましても・・・。これはこれでいきたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>はい。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p>
早田会長	<p>それでは、予定につきましては今ご説明ありました予定で進めていきたいと思いますので、お声がかかりましたらお忙しいとは思いますがご協力の程よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして(3)その他に移ります。その他よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>事務局から特にございませぬ。</p>
早田会長	<p>はい、分かりました。事務局から特にございませぬ。皆様の方から何か聞きたいこと、要望がありましたらこの場でも受け賜わりますがいかがでしょうか、皆さんから。</p>

全委員	特に無し。
早田会長	はい、ありがとうございました。またこういう時期でありますし、貴重な時間でございますので、何もなければ申し訳ございませんが会議を閉めたいと思いたしますがよろしいでしょうか。
全委員	はい。
早田会長	ありがとうございました。それでは、以上をもちまして本日の会議を閉めさせていただきます。 今日はどうもありがとうございました。

## 美幌町次世代育成支援推進協議会出席者名簿

(敬称省略)

	団 体 名	氏 名	出 欠
1	美幌町民生委員児童委員協議会(主任児童委員)	ハヤタ シンジ 早田 眞二	
2	美幌町民生委員児童委員協議会(主任児童委員)	イノウエ ユウコ 井上 裕子	
3	美幌町民生委員児童委員協議会(主任児童委員)	ナカガワ ムツコ 中川 睦子	
4	美幌町自治会連合会女性部会	ハタ イクコ 畑 郁子	
5	社会福祉法人 美幌町社会福祉協議会	フジタ ヒロタカ 藤田 浩孝	
6	美幌町青少年育成協議会	ミヤマ シュウイチ 三山 秀市	
7	美幌町PTA連合会	ヤスイ シュンジ 安井 俊司	欠
8	美幌町小中学校長会	カワハラ ケン 河原 賢	
9	美幌大谷幼稚園	クニサワ ノリコ 國澤 智子	欠
10	美幌藤幼稚園	オオツボ ヒロミ 大坪 弘美	欠
11	へき地三地区合同父母の会	イチノヘ ヒロヒト 一戸 宏公	
12	美幌保育園父母の会	ハセガワ コウイチ 長谷川 浩一	
13	美幌町手をつなぐ連絡協議会	マキノ ヤスノリ 牧野 泰乗	欠
14	美幌町ハート支援ネットワークの会	オオタカ チエコ 大高 千悦子	欠
15	特定非営利法人 ひまわり保育園	ニエダ トモコ 贄田 知子	欠
16	美幌商工会議所	ヨコヤマ キヨミ 横山 清美	欠
17	一般公募	ナカタケ コズエ 中武 梢	欠
18	一般公募	ホンダ 本田 さつき	欠
	町側	高崎民生部長	
	町側	多田児童支援主幹	
	町側	関保育指導主査	
	町側	一色業務担当主査	
	町側	西川業務担当	